

子供のインフルエンザ対策等子育て支援施策の拡充について

代表質問



一誠会
滝田 一郎 議員

工業団地を核とした産業の活性化及び農林畜産の振興並びに雇用促進について

質問…子育てコンシェルジュ（子育て世代専任保健師）配置について伺います。

答弁…本市では子育て家庭の60%が核家族で、妊娠時から出産育児について不安を抱える方も増加しています。平成30年度からはいつでも子育て世代包括支援センターの窓口で相談することが可能となるように、専門知識を有する保健師をセンターの

専任として子育てコンシェルジュという名称で配置します。

質問…今後の保育園の民営化の考え方及び待機児童について伺います。

答弁…くろばね保育園は、平成31年4月1日から民営化します。民営化で生み出された財源を活用し、保育園等に期待される役割や多様化するニーズを捉え子育て支援の拡充を進めます。

今後の公立保育園の民営化は、公立保育園が担うべき役割、子ども・子育て支援のあり方、市内保育施設の状況等を見極め総合的に判断します。

待機児童は平成29年10月1日時点で3人、潜在的待機児童は68人です。対策として、私立幼稚園の認定こども園への移行による施設整備と、保育士確保に向けた処遇改善を進めます。

質問…工業団地の新規開発について伺います。

答弁…適切な地域配置や事業見通しに基づき、今後県とも協議を図りながら検討していきますが、都市計画法の用途の見直しや排水対策、用地の確保、面的整備等一連の手順が必要で、一定期間を要します。

質問…圃場整備及び水稻の計画生産並びに野菜選果場建設によ

る本市の営農の確立について伺います。

答弁…圃場整備事業を推進し、整形化された圃場での担い手の農地の集積及び収益性の高い営農活動を支援します。米の計画生産への理解をいただき国の助成制度をフルに活用しながら収益性の高い園芸作物等への転換を推進することで、農業者の所得の向上に寄与します。また、

平成30年度にはJAなすのが事業主体となるネギ選果場建設の計画があるため、予算案に2億3148万2000円を計上しています。今後は、収益性の高い作物として露地野菜を推進し、栽培農家の確保に努め、新たな選果施設が順調に建設され、かつ有効利用が図られるよう関係機関と連携をして、事業を推進してまいります。